2021年

4月の活動の様子です♪ 新しいお友達も増え、皆で 元気に活動しました!

晴れ渡った空に新緑の青葉。すがすがしさを感じる季節となりました。 こいのぼりも青空の下を泳ぎ、日中は汗ばむくらいの温かさですね。早くも新年度が スタートして1カ月経ちました。子どもたちもようやく今の環境に慣れ始めた頃だと思います。

新しい学年に上がると顔つきもお兄さんお姉さんへと変わってきたように感じますね。 1 人ひとりが成長しようと頑張っている姿を見て我々職員もより一層子どもたちに負けないよう精進し なければと奮い立たされる思いです!

5月も学校での疲れやストレスを発散できるよう、 皆で楽しく活動していこうと思いますので、 宜しくお 願いします。

こっちむいて ちーず



療育のはなし

今月は「巧緻性」という言葉についてお話したいと思います。「巧緻性」とは簡単に言うと手 先の器用さ、巧みに指先を使う能力のことを指します。この能力を幼児期に鍛えることが幼児 脳の発達に大きく影響し、子どもの知能は高められます。指先は「第2の脳」と言われるほど 末梢神経が集中しており、指先への刺激が「幼児脳」を刺激していくことになります。「切る」 「貼る」「折る」「塗る」「結ぶ」「丸める」などの動作が巧緻性に繋がります。これらを訓 練していくことが、様々な能力獲得に繋がっていくのです。例えば、これらの動作は、目の前 にある対象物をよく見て把握し、自分の指先に全意識を集中させなければいけません。つまり、 集中力をつけることに繋がります。また、トレーニング方法(遊び)によってねらえるところ も変わってきます。巧緻性の遊びとして代表的なものが折り紙になります。折り紙を折ったり 開いたりする作業は指先に繊細な動きが求められます。子どものレベルに合わせて徐々に難し さを変えられるところもいいですね。創造力や表現力を鍛えられるものもあるので、遊びの中 に取り入れながら楽しく活動していきたいと思います。

剥がす・貼るなど指先を使う作業をする 体をたくさん動かして体力の向上や体幹 を鍛えると共に、集団でのルールを守り 体の使い方・動かし方を練習しよう。

ねらい

ことで巧緻性を鍛えよう。



※写真の掲載につきましては、個人情報同意書に基づき、各ご家庭ご了承の上での 掲載とさせていただいております※